事業所名　児童発達支援事業所　じゅびこるーむ

支援プログラム

作成日　2024 年　11 月　5 日

法人（事業所）理念	子どもたちが自分に誇りを持ち心豊かで幸せな生活を送ることができるように、私たちは、幼少期という大切な時期から子どもたちの考えや想いを大切に「嬉しい」、「悲しい」、「怒り」などの感情に寄り添い、共有し“気持ちを伝えていいんだ”と思うことや小さなことでも「できること」を増やして、自信や自己肯定感に繋げて育むことを大切にして支援を行ってまいります。				
支援方針	“教室”ではなく家庭の延長線上として家庭的な雰囲気を大切にし、職員やお友達と生活をしながら身の回りのことや社会性を身につけ、大人が主体となって指導するスタイルではなく、子どもたち自らの“やってみたい”という気持ちを実現できるように職員はあくまでサポート役として、子どもたちの安全を配慮したなかで遊びや活動を行っていきます。そして、子どもたちの意欲や自己充実感、考える力を育みます。				
営業時間	8 時　0 分から　17 時　0 分まで	送迎実施の有無	あり　(なし)		
	支　援　内　容				
本人支援	健康・生活	・生活リズムや生活習慣の形成のために、1日の流れを大きな軸とし、様々な体験できるように設定しています。※流れに合わせて参加したり、動くことは子どもの気持ちが最優先です。また、1日を通し生活するなかで、遊ぶ時間、トイレやご飯の時間など様々な切り替えの場面の練習や「今は〇〇の時間」と意識をができるようになるための支援をしています。 ・健康状態の維持と改善のために、毎日公園やお散歩など外での活動を取り入れて、自然に触れることで五感を豊かにし季節に触れる体験を行いながら、発達を促しています。また、日光を浴びたり、身体を動かすことで体力の向上やストレスの緩和も目的として支援をしています。 ・基本的生活スキルの獲得のために、1日を通して職員やお友だちと一緒に過ごすことで、排泄や食事、衣類の着脱、手洗いうがいなどの身の回りのことを自らがやりたくなれるように促し、支援をしています。また、わかりやすく、安心して行動に移せるようにお子さまの特性に配慮し、環境を整え構造化をし支援をしています。そして、成功体験を増やすことで、自己肯定感を育む支援をしています。			
	運動・感覚	・室内ではバランスボード、ソフトマット、トランポリン、滑り台、ボルダリングなどと身体を使った遊びを子どもたちの意思で「やってみたい」と思ったときに提供ができるように環境を整え職員の配置を重視し支援をしています。また、室内や外遊びで身体を動かす遊びをすることで楽しみながら自然と日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や「粗大運動」、「微細運動」の習得や改善、筋力の維持や強化を目的として支援をしています。 ・音楽（歌、楽器、リズム体操など）、アート（絵具、粘土、工作など）、パネルシアター、ブラックパネルシアターなどの聴覚や視覚、触覚を刺激した活動を行い、発達の促しを目的とし支援をしています。※聴覚や視覚、触覚は苦手なお子さまもいますので、配慮しながら行っております。			
	認知・行動	・お子さまの特性に合わせた、音楽、アート、外遊び、室内遊びのなかで、五感を活用した支援内容を行うことで、認知機能の発達を促す支援をしています。 ・切り替えの場面や活動の手順を理解し、自ら行動に移せるように、職員が演じること、写真やイラストを使うことや短い文章で伝えるなどの工夫をし支援をしています。 ・適切な認知と適切な行動の習得のために、ホワイトボードに1日の流れを時間とイラスト、言葉で提示し、終わった内容にはマークをつけることで、視覚からの情報がプラスされより理解しやすい環境で、時間の概念形成を促し支援をしています。 ・認知への偏りでは、畑で野菜や果物を育て、収穫の体験や料理など実際に触ってみたり、食べるまでの工程を体験することで食への興味関心を促し、こだわりや偏食を緩和できるように支援をしています。			
	言語 コミュニケーション	・お子さまの特性や発達段階に合わせて、遊びのなかや食事などでの自然なコミュニケーションを取りながらも、時にはお子さまの様子を静かに見守り、お子さまが発声した音や言葉、動作が見られた場合も職員が真似をしたり、要求に応じ支援をすることでより意欲的に発声や発語へ促し、言語の発達を目的とし支援をしています。 ・過ごしているなかに実際に起きた出来事で、職員がお子さまの気持ちを代弁したりなどの言語心理学的技法を用いて支援をしています。 ・お子さまが自ら「伝えたい」と思えるように、職員との信頼関係を築くためお子さまの気持ちを汲み取り、寄り添うことを大切に支援をしています。 ・コミュニケーション手段を適切に選択し、活用できるようにお子さまの特性や発達段階に合わせた、方法を取り入れ支援をしてまいります。（※言語的コミュニケーションができる場合は正しい言葉の理解と活用方法。非言語的コミュニケーションができる場合は、ジェスチャーや絵カード、表情など）			
	人間関係 社会性	・人間関係については、最初は職員と遊びや食事を通して信頼関係を築いていくことを目的とした支援を行います。ただ、一緒に遊ぶだけではなく、子どもたちがの気持ちを汲み取り寄り添うことを常に支援に取り入れることを大切にしています。また、一緒に過ごすお友だちへの意識が芽生えてくる時期もあります。その際に楽しくお友だちとの関わりができるように、職員が間に入りコミュニケーションのサポートしながら支援をしています。 ・社会性では、「朝の会」や「食事」、「公園に行く」、「活動をする」など様々な場面で集団を意識できるような時間があります。個々で過ごす時間も大切にしていますが、みんなで過ごす時間も職員が意識をしながら声掛けや促し方を工夫し、子どもたちが自然と社会性が身につけられるように支援をしています。また、幼稚園や保育園、就学に向けた			
家族支援	ご家族のレスパイトや就労などの目的も含めた預かりや支援、情報共有	移行支援	保育園、幼稚園、就学など様々な移行先に向けた支援		
地域支援・地域連携	公園や施設などに出かけ、様々な体験を行う	職員の質の向上	内部や外部の研修や日々のミーティング		
主な行事等	避難訓練、遠足、系列店舗との交流会や合同イベント、お誕生日会、餅つき、節分、ひな祭り、夏の水遊び、お月見、ハロウィンパーティ、クリスマス会				